

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年7月31日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東
 コード番号 7600 URL <http://www.jmdm.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 正男
 問合せ先責任者(役職名) IR部長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,409	△21.9	242	△62.5	238	△62.2	131	△70.6
2020年3月期第1四半期	4,364	16.0	646	41.1	630	43.1	448	41.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 76百万円(△70.6%) 2020年3月期第1四半期 258百万円(△46.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.99	—
2020年3月期第1四半期	16.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,378	16,804	68.6
2020年3月期	24,917	16,993	67.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 16,732百万円 2020年3月期 16,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,300	△16.9	550	△56.6	530	△56.7	330	△64.2	12.51
通期	17,800	△1.6	2,200	△16.8	2,100	△18.7	1,600	△26.1	60.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	26,475,880株	2020年3月期	26,475,880株
2021年3月期1Q	91,888株	2020年3月期	91,845株
2021年3月期1Q	26,384,003株	2020年3月期1Q	26,401,325株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による影響を受け、当社グループの経済活動は大きく制限されました。その結果、売上高は3,409百万円（前年同四半期比955百万円減、同21.9%減）、営業利益242百万円（前年同四半期比404百万円減、同62.5%減）、経常利益238百万円（前年同四半期比391百万円減、同62.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益131百万円（前年同四半期比316百万円減、同70.6%減）となりました。

売上高は、日本国内及び米国における新型コロナウイルス感染症の影響により症例数が減少し、日本国内の売上高は前年同四半期比8.0%減の2,400百万円、米国の外部顧客への売上高もUSドルで前年同四半期比41.3%減、円換算後は前年同四半期比42.5%減の1,008百万円となりました。

人工関節分野は、日本国内において新型コロナウイルス感染症の影響による人工関節置換術の延期・中止がありました。また、症例数の減少は想定より少なかったこと、また、米国においても一部の医療機関で想定より早く人工関節置換術再開の動きがあり6月に売上高が急速に回復したものの、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比28.4%減（日本国内5.9%減、米国42.4%減）の2,025百万円となりました。

骨接合材料分野は、緊急事態宣言の発出に伴う外出制限などの影響により前年比で症例数が減少しました。また、「ASULOCK」は需要に供給が追い付かず在庫不足となり、医療機関への出荷制限が続いていることから、日本国内の売上高は前年同四半期比14.7%減の758百万円となりました。なお、同在庫不足問題は当下半期に解消する見込みです。

脊椎固定器具分野は日本国内において「KMC Kyphoplasty システム」が引き続き好調に推移したことに加え、今年3月に新製品「Vusion Ti 3Dケージ」の販売開始に伴いインターボディケージの売上が伸張しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により脊椎固定術が延期・中止となったこと、また、その他製品の症例数の減少などの影響もあり日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比1.9%減（日本国内1.0%減、米国74.1%減）の545百万円となりました。

売上原価は、自社製品売上高比率の低下など売上原価率悪化の要因により、売上原価率は32.3%（前年同四半期は29.0%）となりました。

販売費及び一般管理費合計は、米国での売上減少に伴う支払手数料（コミッション・ロイヤリティ）等の減少により、前年同四半期比15.8%減の2,066百万円と減少したものの、売上高販管費率は60.6%（前年同四半期は56.2%）となりました。

営業利益は、売上高の減少により、242百万円（前年同四半期比62.5%減）となりました。

経常利益は、為替差益9百万円、受取手数料2百万円など営業外収益を14百万円計上し、支払利息11百万円など営業外費用を17百万円計上した結果、238百万円（前年同四半期比62.2%減）となりました。

特別損益は、医療工具などの固定資産除却損8百万円を特別損失に計上しました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円（前年同四半期比70.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

売上高は2,400百万円（前年同四半期比8.1%減）、営業利益は186百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

②米国

売上高は1,961百万円（前年同四半期比25.2%減）、営業利益は121百万円（前年同四半期比62.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ538百万円減少し、24,378百万円となりました。主な減少は、現金及び預金276百万円、受取手形及び売掛金554百万円、工具器具及び備品58百万円で、主な増加は、商品及び製品348百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ349百万円減少し、7,574百万円となりました。主な減少は、未払金77百万円、賞与引当金136百万円、繰延税金負債106百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ188百万円減少し、16,804百万円となりました。主な減少は、利益剰余金133百万円、為替換算調整勘定62百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期が当初想定を上回る結果となったことを踏まえ、第2四半期(累計)の連結業績予想を上方修正しました。しかしながら、日本及び米国ともに上半期中に新型コロナウイルス感染症が収束するとの想定のもと、下半期は症例数が回復するとの仮定にて通期業績予想を策定していましたが、現状、新型コロナウイルス感染症が上半期中に収束することが合理的に見通せる状況にないことから、通期連結業績予想につきましては、2020年4月30日に開示しました通期の連結業績予想を据え置いております。

以下、日本及び米国における新型コロナウイルス感染症の連結業績予想に与える影響に関する説明です。

(日本)

日本国内においては本年4月3日に日本整形外科学会より「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う整形外科手術のトリアージについて」が提示され、外傷・解放骨折などが優先され、慢性疾患である人工関節置換術や脊椎固定術は延期・中止の影響を大きく受けるものと想定していましたが、骨接合材料分野は、本年4月7日に発出された緊急事態宣言による外出制限などの影響から症例数が想定以上に減少しましたが、骨接合材料分野よりも大きな影響を受けると想定していた人工関節分野や脊椎固定器具分野の症例数は、想定していた程のマイナス影響は受けておらず、医療機関では可能な限り手術が行われていると思われまます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染者数は一旦収束に向かう動きを見せたものの、現状、東京都を中心に再拡大傾向にあることから、当第2四半期以降、日本国内においても症例数が単純に回復することはなく新型コロナウイルス感染症の感染者数の状況を踏まえ増減を繰り返すものと思われまます。

(米国)

米国では本年3月に発表された「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」により緊急性のない手術(Elective Surgery)の中止・延期が病院へ指示されたことから、4月はほぼ想定通り人工関節置換術が行われることはありませんでした。5月以降、新型コロナウイルス感染症の患者数の増加率が低下したことに伴う人工関節置換術の再開により想定以上に症例数が回復し、6月には更に多くの医療機関で手術が再開されたことから、当第1四半期は想定以上に症例数が回復しました。

しかしながら、現状、新型コロナウイルス感染症の感染者数は州により状況に差はあるものの、経済活動再開の動きに合わせ全体としては再度拡大傾向となったため、人工関節置換術を再開した医療機関が、再度、手術の延期・中止を決めるなど単純に回復傾向にあるとは言えない状況にあることから、当第2四半期以降の人工関節置換術の件数は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の状況を踏まえ増減を繰り返すものと思われまます。

また、営業活動については、当第1四半期は新型コロナウイルス感染症の影響により、日米ともに病院への立入制限から新規の営業活動が大幅に制限された他、多くのEducationプログラムや学会等が中止となりました。当社グループのビジネス拡大に向けた新規顧客獲得のための営業活動が制限され、顧客基盤の拡大に苦戦していますが、既存顧客とのリレーションは確実に維持できていることから、現時点で通期の連結業績予想に大きな影響があるとは見通しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,512,870	2,236,450
受取手形及び売掛金	4,428,726	3,873,877
商品及び製品	7,347,313	7,695,815
仕掛品	233,781	271,078
原材料及び貯蔵品	1,123,342	1,215,293
その他	201,245	179,948
貸倒引当金	△12,385	△1,007
流動資産合計	15,834,894	15,471,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,408	714,380
機械装置及び運搬具(純額)	308,885	297,088
工具、器具及び備品(純額)	4,473,387	4,414,968
土地	1,988,235	1,987,962
その他	29,898	15,844
有形固定資産合計	7,526,815	7,430,243
無形固定資産	282,196	269,045
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,223,318	1,117,144
その他	49,999	90,919
貸倒引当金	△12	△1
投資その他の資産合計	1,273,306	1,208,063
固定資産合計	9,082,318	8,907,352
資産合計	24,917,213	24,378,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	808,073	761,903
短期借入金	1,692,070	1,643,218
リース債務	32,139	32,162
未払法人税等	177,163	162,760
未払費用	397,820	441,017
未払金	275,152	197,179
割賦未払金	3,097	—
賞与引当金	175,332	39,008
役員賞与引当金	51,102	11,649
その他	104,095	118,175
流動負債合計	3,716,047	3,407,076
固定負債		
長期借入金	2,337,232	2,396,136
リース債務	70,621	62,572
退職給付に係る負債	1,140,540	1,151,846
役員株式給付引当金	56,840	59,891
資産除去債務	28,436	28,530
長期預り金	7,000	7,000
繰延税金負債	567,184	461,054
固定負債合計	4,207,855	4,167,032
負債合計	7,923,903	7,574,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	11,305,538	11,172,502
自己株式	△111,259	△111,323
株主資本合計	16,783,237	16,650,137
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	21,542	14,921
為替換算調整勘定	325,813	263,343
退職給付に係る調整累計額	△202,293	△195,559
その他の包括利益累計額合計	145,062	82,704
非支配株主持分	65,010	71,857
純資産合計	16,993,309	16,804,699
負債純資産合計	24,917,213	24,378,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,364,136	3,409,051
売上原価	1,263,529	1,100,632
売上総利益	3,100,606	2,308,419
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	73,176	56,790
販売促進費	71,498	43,516
広告宣伝費	17,868	2,614
給料及び手当	729,927	694,629
退職給付費用	28,977	32,251
法定福利費	65,165	71,837
福利厚生費	46,009	58,053
貸倒引当金繰入額	△811	△11,388
旅費及び交通費	59,813	16,279
減価償却費	293,374	296,971
租税公課	31,104	32,262
研究開発費	110,099	120,527
支払手数料	590,023	355,275
その他	337,993	296,639
販売費及び一般管理費合計	2,454,221	2,066,259
営業利益	646,385	242,159
営業外収益		
受取利息	40	45
為替差益	4,050	9,526
受取手数料	2,844	2,844
その他	1,732	1,680
営業外収益合計	8,667	14,097
営業外費用		
支払利息	21,976	11,925
シンジケートローン手数料	1,000	1,845
その他	1,819	3,948
営業外費用合計	24,795	17,720
経常利益	630,256	238,537
特別損失		
固定資産除却損	7,934	8,208
特別損失合計	7,934	8,208
税金等調整前四半期純利益	622,322	230,328
法人税、住民税及び事業税	170,293	86,563
法人税等調整額	△3,693	4,654
法人税等合計	166,599	91,218
四半期純利益	455,723	139,110
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,598	7,536
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,124	131,573

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	455,723	139,110
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△30,385	△6,620
為替換算調整勘定	△172,365	△63,160
退職給付に係る調整額	5,983	6,733
その他の包括利益合計	△196,768	△63,047
四半期包括利益	258,955	76,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,236	69,215
非支配株主に係る四半期包括利益	4,719	6,846

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,608,955	1,755,181	4,364,136	—	4,364,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,757	866,875	868,632	△868,632	—
計	2,610,713	2,622,056	5,232,769	△868,632	4,364,136
セグメント利益	288,843	327,005	615,849	30,536	646,385

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去30,536千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,400,224	1,008,827	3,409,051	—	3,409,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	952,881	952,881	△952,881	—
計	2,400,224	1,961,709	4,361,933	△952,881	3,409,051
セグメント利益	186,910	121,716	308,627	△66,467	242,159

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△66,467千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	2,400,224	92.0
	人工関節	1,018,025	94.1
	骨接合材料	758,813	85.3
	脊椎固定器具	543,896	99.0
	人工骨	45,695	88.9
	その他	33,792	91.6
	米国	1,008,827	57.5
	人工関節	1,007,060	57.6
	脊椎固定器具	1,767	25.9
合計		3,409,051	78.1

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。また、上記金額に、消費税等は含まれておりません。